

事業名 芸術鑑賞ツアー**趣旨** 県外の芸術を鑑賞する事業を実施し、市民に優れた芸術鑑賞機会の充実を図る。**実施主体** 三条市 生涯学習課 文化振興係**参加対象** 三条市民**参加者数** 計 151名 (①42名、②23名、③43名、④43名)**回数** 4回**場所** 内容のとおり**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
	①7月12日 (日)	劇団四季「ウィキッド」(四季劇場海)の鑑賞 (参加 42名)	小林未雪さん
	②8月6日 (木)	りゅーとぴあ古典狂言シリーズ 「野村万作・萬斎狂言」公演(りゅーとぴあ)の鑑賞 (参加 23名)	
	③ 11月25日 (水)	「日展」鑑賞(国立新美術館)の鑑賞 (参加 43名)	生涯学習課職員
	④ 12月12日 (土)	さよなら歌舞伎座公演(歌舞伎座)の鑑賞 (参加 43名)	生涯学習課職員
1	内容・方法	[内容] 芸術を鑑賞するバスツアーを県外3回、県内1回の4回実施した。 鑑賞内容については、前年度実施のお出かけシアター参加者にお集まりいただき、要望を伺い、4回の内容を決定した。 [方法] 市の広報、ポスター等で周知し、往復はがきで募集、抽選により参加者を決定した。 今年度は4回実施のため、第1回募集時に4回の内容を公表し、応募が多い場合は、前回参加した方にご遠慮いただく旨、明記した。	

成果 ・ 多数の応募をいただき、事業終了後のアンケートでも好評を得た。**課題** ・ 鑑賞ツアーに参加するだけでなく、実行委員会など事業を企画する人材の育成や講師の確保が必要。**問合せ先** 三条市 生涯学習課 文化振興係 TEL0256-34-5511 (内線248)

事業名 新発田市立図書館創立80周年記念事業
「寺田ヒロオ作品展・座談会・巡回展」

趣 旨 健全な児童漫画を描き、就学就職した新発田を故郷と思っていた漫画家、寺田ヒロオの生涯を紹介する。

実施主体 新発田市立図書館・新発田市生涯学習協会

参加対象 どなたでも

参加者数 ①作品展1600人(18日)＋②座談会60人＋③豊浦支所500人(9日)＋④紫雲寺支所300人(10日)＋⑤加治川支所500人(9日)＋⑥まちの駅1430人(22日)＝4390人(68日)

回 数 日 数 68日 時 間

場 所 ①新発田市立図書館1階坪川記念室、②新発田市立図書館3階会議室、③～⑤新発田市各支所、⑥まちの駅

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月6日～25日	①寺田ヒロオ作品展	なし
	内容・方法	①今年復刻出版された作品、②寺田ヒロオとトキワ荘の人々の作品、③友人たちに贈った作品(今回初公開)を展示。	
2	期日・時間	10月14日	②座談会・寺田ヒロオ作品の心を伝える
	内容・方法	同級生、家族、研究者による座談会を開催。映像に録画し今後の資料とする。参加者からの意見、資料説明もあった。	
3	期日・時間	③11月5日～17日 ④11月19日～12月1日 ⑤12月3日～15日 ⑥12月17日～①1月12日	寺田ヒロオ作品巡回展
	内容・方法	③～⑤寺田ヒロオ作品展に同じ	
			なし

成 果 ・ 郷土の人物の紹介ができた。市民が漫画資料に親しみを持つきっかけができた。

課 題 ・ トキワ荘出身の漫画作家の作品を収集している館等との情報交流をしたい。

問合せ先 新発田市立図書館(担当:鈴木副参事) 電話0254-22-3101 内線1655

事業名 第2回 紫雲寺地区芸能音楽発表祭

趣 旨 紫雲寺地区公民館を利用し活動を行っている芸能音楽団体が一堂に会し、日頃の練習・活動の成果を発表し交流と親睦を図るとともに、地区文化の振興に寄与することを目的とする。

実施主体 紫雲寺地区公民館
紫雲寺地区芸能音楽発表祭実行委員会

参加対象 紫雲寺地区公民館利用団体 10 団体

参加者数 参加 10 団体 116 名 鑑賞者数約 150 名

回 数 1 回 **日 数** 1 日 **時 間** 2 時間

場 所 新発田市紫雲寺地区公民館

内 容

回	期間・時間	テーマ	講師等
	11月21日(土)	*****	*****
1	内容・方法	当日のプログラム ○あやめ大正琴サークル・華の音会合同演奏 「百万本のバラ」「昴(すばる)」 ○紫雲寺民謡研究会 「しぐれ傘」「長崎のんご節」「出雲崎おけさ」 ○紫雲寺民謡愛好会 「津軽甚句」「十日町小唄」「秋田船方節」 ○須美貴会 「野崎小唄」「友禅流し」「新潟しぐれ」 ○ダンスサークルベル 「キサス キサス キサス」「アルハンブラの思い出」 「赤い靴」 ○彩～sai～ 「襖(みそぎ)」「桜咲くころあやめ咲くころ(合同)」 ○よさこいしうんじ太陽(ソレイユ)～soreil～ 「海人つ神～あまつみ」 「桜咲くころあやめ咲くころ(合同)」 ○バンドエイド 「Rock Around the Clock」「川の流れるように」 「明日があるさ」 ○ヴィヴァーチェ 「ムーンライトセレナーデ」「ラ・マカレナ」 「ピンクレディーメドレー」	

成 果 ・ 第1回の反省をふまえ、開催時間を午前10時から午後7時に変更したことにより発表団体、入場者数がともに増えた。また、各団体の発表のレベルが高く入場者からは好評であった。

課 題 ・ 今回、出演団体により実行委員会を立ち上げたが、今後、発表祭を継続・定着させていくには、実行委員会がより主体的な取り組みやPR等が必要になると思われる。

問合せ先 新発田市紫雲寺地区公民館 TEL: 0254-41-2291

事業名 「絵本作家 田島征三の世界」

趣 旨 40年以上絵本作家としてのキャリアがあり、県内に自身の美術館「絵本と木の実の美術館」を昨年開設し、今年の大地的芸術祭にも出展した注目の絵本作家の原画を鑑賞し、かつ講演会で作者自身にも触れることで、年齢を問わず多くの人に本への関心を持ってもらい、絵本の楽しさを伝えることを目的とする。

実施主体 燕市立図書館

参加対象 燕市民

参加者数 絵本原画展・・・821人 講演会・・・80人 おはなし会・・・32人

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6/5(火)～6/28(日) (火～金)10時～18時(土日) 10時～16時	田島征三の絵本原画展	絵本作家 田島 征三
	内容・方法	『さよならぼろ』15点『オオカミのひみつ』18点『おばけむら』19点『オオカミのごちそう』10点を展示 場所：燕市立図書館2階展示ホール	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6/14(日) 13時半～15時	演題「絵本・子ども・自然」	絵本作家 田島 征三
	内容・方法	講演会 場所：吉田公民館3階大ホール	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	6/20(土)14時～15時	おはなし会	絵本作家 田島 征三
	内容・方法	作者本人の大型絵本『ちからたろう』『とべバッタ』の読み聞かせと手遊びやお手玉遊び 場所：分水公民館3階視聴覚室	

成 果 ・ 絵本原画展会場でのアンケートより、乳幼児～70歳を越える高齢者までの参加だったことがわかり、幅広い世代から来場していただいた。また、絵本と原画は違って納得したという感想もあり、より身近に本を感じていただけたと実感した。

課 題 ・ この企画展はこれで3年目(平成19年度「松岡達英だ『ぴょーん』展」、平成20年度「かこさとしの世界 in つばめ」)を迎え、毎回アンケートでは来年も継続して欲しいという声が上がっている。予算等の関係で継続できるかが課題である。

問合せ先 燕市立吉田図書館 〒959-0242吉田大保町22-1 0256-92-7650

事業名 「平成21年度阿賀野市文化祭」

趣 旨 一般市民の芸術文化活動への関心と水準を高めるため、鑑賞・発表会の機会を提用し、芸術文化活動の推進及び活性化を図る。

実施主体 主催 阿賀野市教育委員会
 共催 阿賀野市安田文化協会・京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会・阿賀野市水原文化協会・
 笹神地区文化協会
 主管 各区地区文化祭実行委員会

参加対象 市民

参加者数 来場者数 5, 233人 出展・出演団体数 244団体

回 数 各地区1回 **日 数** 延べ7日間

場 所 市内各公民館・体育館・福社会館等 全10会場

内 容

地区	期日・時間	テ ー マ	協力団体数
安田地区	10月11日(日)	安田芸能のつどい	安田文化協会加盟団体等 11団体
	10月31日～11月1日	安田文化祭作品展覧会等	安田文化協会加盟団体等 28団体
	内容・方法		
	芸能のつどい：会場 安田体育館 地区内の団体・小学校児童による発表会 190人来場		
文化祭：会場 安田体育館・安田公民館 団体・市民・企業が出展 作品数760点 820人来場			
京ヶ瀬地区	期日・時間	テ ー マ	協力団体数
	11月1日～11月3日	京ヶ瀬文化祭作品展覧会等	京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会加盟団体等 16団体
	11月8日(日)	京ヶ瀬芸能祭	京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会加盟団体等 19団体
	内容・方法		
文化祭：会場 京ヶ瀬体育館 団体・市民・小学校児童が出展 作品数325点 436人来場			
芸能祭：会場 保健福祉センター京和荘 地区内の団体による発表会 345人来場			
水原地区	期日・時間	テ ー マ	協力団体数
	10月25日(日)	芸能発表会	水原文化協会加盟団体 27団体
	11月1日(日)	音楽部門コンサート	水原文化協会加盟団体 1団体
	10月31日～11月3日	水原文化祭作品展・催事等	水原文化協会加盟団体等 21団体
	11月3日(火)	市民茶会	水原文化協会加盟団体 2団体
	内容・方法		
芸能発表会：会場 水原公民館 地区内の団体による発表会 362人来場			
音楽部門コンサート：会場 水原保健センター 地区内の団体による発表会 120人来場			
文化祭：会場 水原総合体育館 団体・市民が出展 作品数377点 1, 293人来場			
市民茶会：水原代官所 地区内の団体によるお茶会 230人来場			
笹神地区	期日・時間	テ ー マ	協力団体数
	11月1日～11月3日	笹神文化まつり作品展・催事等	笹神地区文化協会加盟団体等 25団体
	11月2日(月)	ナツメロ大会	市内住民 62人
	11月3日(火)	芸能発表会	笹神地区文化協会加盟団体等 12団体
	内容・方法		
文化まつり：会場 笹神ふれあい会館・笹神支所 団体・市民・保育園が出展 作品数568点 802人来場			
ナツメロ大会：会場 笹神ふれあい会館 市民参加によるカラオケナツメロ大会 335人来場			
芸能発表会：会場 笹神ふれあい会館 地区内の団体による発表会 300人来場			

- 成 果** ・ 各地区実行委員自ら会場の設置撤去及び展示作業を行い、市民参加による協働事業として定着してきた。
- 課 題** ・ 出品者の高齢化がみられ、若い人からの参加が望まれる。
・ 地区開催している展示会や芸能発表会での出品者・出演者の交流または開催の統合。
- 問合せ先** 阿賀野市教育委員会 生涯学習課 社会教育係（遠藤） TEL:0250-62-5322

事業名 良寛の心ふれあい事業 ～生誕地からの発信～
「良寛さま朗読ライブ」

目的 良寛さまに関する事業を生誕地・出雲崎から発信し、その事業をとおして良寛さまの心にふれる。

実施主体 出雲崎町教育委員会

参加対象 一般

参加者数 130人

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 1時間30分

場所 出雲崎町中央公民館・講堂

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月7日(日) 14:00～15:30	良寛さま朗読ライブ	越後語り座 語り：加藤博久 樋口幸子 ギター：難波隆弘 バンブーサックス：ときゆうじ パーカッション：渡邊真治
	内容・方法	越後を代表する文人、相馬御風が昭和初期に出版した「良寛さま」に『越後語り座』が曲をつけ、情緒あふれるバンブーサックスの演奏と朗読を披露する。	

成果 ・ 今回初めての実施であったが、大変好評だった。今後も様々な形で良寛さまの心にふれることのできる事業を展開していきたい。

課題 ・ 告知チラシを作成し、全町民に配布したり他市町村の文化施設等に掲出をお願いしたが、PRの期間が少し短かった。

問合せ先 出雲崎町教育委員会 社会教育係 TEL：0258-78-2250

事業名 「湯沢町総合文化祭」

目的 公民館における各種講座や一般町民による作品の発表の場とするとともに、町民の芸術に対する理解を深める。また、文化祭を通じて町民の文化に対する趣味や勉強につながると考えている。

実施主体 湯沢町公民館(湯沢町教育課)

参加対象 町民

参加者数 11/1～3 約1,400人 11/8 約350人

回数 1回 **日数** 4日

場所 湯沢町公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11/1～11/3 9:00～20:00	作品展覧会	
	内容・方法	町民や講座生による作品約300点を展示 越後湯沢全国童画展の受賞作品を展示	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	11/1～11/3	参加型日替りプログラム	
2	内容・方法	サークルや講座生などによる参加体験のできる催しを開催 11/1 ・ふれあい食育レストラン(湯沢町食生活改善推進協議会、湯沢町保健センター) 11/2 ・ダンス体験(シルバーダンス講座) ・切り絵体験(切り絵講座) 11/3 ・ハーモニカ発表会(ハーモニカクラブ) ・絵付け体験(陶芸サークル) ・自然エネルギーで遊んでみよう!(東京電力)	
	期日・時間	テーマ	講師等
3	11/3	山の幸染め&押し花体験	佐藤 幸子
	内容・方法	文化祭の企画として当日は無料開放している「雪国館」歴史民俗資料館にて開催。湯沢の野山で収穫した草花(押し花)を使って絵葉書、キーホルダー、コースター作り体験	
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11/8 12:30～16:00	芸能発表会	
	内容・方法	町内の芸能協会所属団体による発表会	

成果 ・ 作品展示と参加型日替りプログラムの同時開催により、来場者が増加した。

課題 ・ 2日が平日だったため、体験プログラムの参加が少なかった。
・ 出品作品が減少傾向にある。

問合せ先 湯沢町教育委員会 教育課(湯沢町公民館) TEL:025-784-2460